

将来展望に関する検討会議（仮称）の設置について

1. 目 的

年間移植件数は900件を超え、ドナー登録者数は平成19年度中に30万人を達成見込みとなっている現下の状況を踏まえ、年間移植件数が1,000件を超える状況においても安定的に骨髄液を仲介できる体制やドナー登録者が30万人を達成した後のドナープールのあり方等、骨髄バンク事業の将来のあるべき姿とその実現に向けて骨髄バンクとして取り組むべき課題等について検討いただくものである。

2. 検討内容

- ・ 骨髄バンク事業（ドナープール、ドナーコーディネート、移植調整等）の将来のあるべき姿
- ・ 骨髄バンクとして今後取り組むべき課題 等

3. 会議の進め方

- ・ 期間・・・平成18年10月から6ヶ月程度
ただし、議論の進捗状況によって期間延長を行う場合がある。
- ・ 平成19年6月開催予定の理事会、評議員会に答申を行う。
ただし、ドナープールの問題に関しては、平成19年1月を目途に理事長へ中間答申を行う。

4. 会議メンバーの考え方

- ・ 座長・・・・・・・・常任理事会メンバーから理事長が指名する。
- ・ 副座長、委員・・・骨髄バンク事業に関わりのある有識者等から選任する。

5. 当面のスケジュール（案）

- ・ 9月20日（本日） 常任理事会において検討会議設置について審議
- ・ 9月中 副座長、委員の選考、依頼
- ・ 10月11日 常任理事会においてメンバーの報告
- ・ 10月中 第1回会議招集